

目次

I. はじめに.....	2
1) 機能紹介.....	3
2) 動作環境.....	4
II. 事前準備.....	5
III. システムの起動.....	6
IV. 健診結果データの取り込み.....	8
V. 研究対象者抽出・出力.....	15
VI. データ提出（年度末に行う作業です）.....	18
VII. システムの終了.....	22

厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業
「非肥満者に対する保健指導方法の開発に関する研究」班
非肥満者への保健指導ガイドラインによる保健指導の実行性と有効性に関する研究

データ抽出・出力ソフト 操作手順書

ご注意

- ①このソフトウェアの著作権は、合同会社生活習慣病予防研究センターにあります。
- ②このソフトウェアや本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- ③このソフトウェアの仕様、および本書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。

Microsoft、MS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
FileMaker、ファイルメーカー、ファイルフォルダログは、FileMaker, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

「データ抽出・出力ソフト」に関するお問い合わせ先
合同会社生活習慣病予防研究センター
事務局 穂積千恵子
TEL：050-3823-0100
FAX：03-5543-1377
E-mail：jimukyoku.yuko@jr.isp.com

1) 機能紹介

本ソフトで使用できる機能は以下の通りです。

①健診データ (CSV) 取込

研究に必要な特定健診結果データの取り込みを行います。

②研究対象者抽出・出力

非肥満研究の対象者を健診結果データから抽出して、そのリストを出力します。

③データ提出

研究に必要な特定健診結果データを匿名化して出力を行います。

この機能は年度末のデータ提出の時に使用します。

I. はじめに

「データ抽出・出力ソフト」(以下「本ソフト」)は厚生労働科学研究費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策研究事業「非肥満者に対する保健指導方法の開発に関する研究」班の非肥満者への保健指導ガイドラインによる保健指導の実行性と有効性に関する研究で使用するものです。

※平成 28 年度の健診データを使用して非肥満対象者を抽出される場合

- ・本操作手順書に沿って、「IV. 健診結果データの取込」「V. 研究対象者抽出・出力」作業をお願いいたします。
- ・年度末に平成 29 年度健診結果の匿名化データを提出していただきますので、データ提出をお願いする際には、別途お知らせいたします。

※平成 29 年度の健診データを使用して非肥満対象者を抽出される場合

(本ソフトを使用せずに非肥満対象者を抽出される場合)

- ・年度末に平成 29 年度健診結果の匿名化データを提出していただきますので、データ提出をお願いする際には、別途お知らせいたします。
- ・また、同じタイミングで本ソフトを使用せずに抽出した非肥満対象者と、上記提出データの匿名化番号の突合を行う為に、本ソフトで抽出・出力作業をしていただく予定です。詳細については、別途お知らせいたします。

※本ソフトの操作上の不具合や不明点等ありましたら、表紙に記載されているお問合せ先までご連絡ください。

※本ソフトは研究が終了する 2020 年 3 月 31 日まで、金庫等で保管してください。

II. 事前準備

- ソフトを使用して非肥満対象者を抽出する際には、平成 28 年度の特健診のデータ（FKAC167/CSV データ）を USB や CD-R 等に用意してください。データが圧縮されている場合は解凍してください。
- 年度末の匿名化データ提出の際には、平成 29 年度の特健診のデータ（FKAC167/CSV データ）を上記と同様に USB や CD-R 等に用意してください。データが圧縮されている場合は解凍してください。
- ご用意いただいたデータは研究が終了する 2020 年 3 月 31 日までバックアップを保管してください。
- 特健診データの取り込み作業時間をご使用の PC の性能により変動しますが、CSV の場合 1 万件で約 1 時間かかります。予めご了承ください。
- 作業中、PC がスリープモードや休止状態になるとデータが破損してしまいます。作業中はスリープモード・休止状態にならないよう、WINDOWS の設定の変更をお願いいたします。作業中にウィンドウの最小化を行ったり、他のソフトを動かしたりしますと、PC の処理能力を超えてしまい、エラーの原因になる可能性があります。作業開始前に、他のソフトは終了していただきたいと思います。
- 1 | ソフトが保存されている HDD を PC に接続する際、PC 側は USB3.0 のポートに接続していただくと、処理が多少速くなります。
1 | (USB3.0 のポートに端子が青い又は「SS」という記載があります)
- HDD は安定した場所に置き、途中で抜けたりしないようご注意ください。

2) 動作環境

本ソフトをお使いになるには以下の動作環境が必要です。

OS		
Windows 7 Ultimate, Professional, Home Premium	最低条件	CPU:1 GHz 以上 RAM:1 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ
	推奨	CPU:1 GHz 以上 RAM:2 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ
Windows 8 Ultimate, Professional, Home Premium	最低条件	CPU:1 GHz 以上 RAM:1 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ
	推奨	CPU:1 GHz 以上 RAM:2 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ
Windows 10	最低条件	CPU:1 GHz 以上 RAM:1 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ
	推奨	CPU:1 GHz 以上 RAM:2 GB 1024x768 以上の解像度のビデオアダプタとディスプレイ、DVD ドライブ

III. システムの起動

①本ソフトが保存されているHDDをPCに接続してください。

②接続したHDDを開いてください。

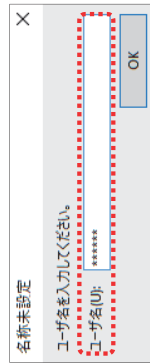
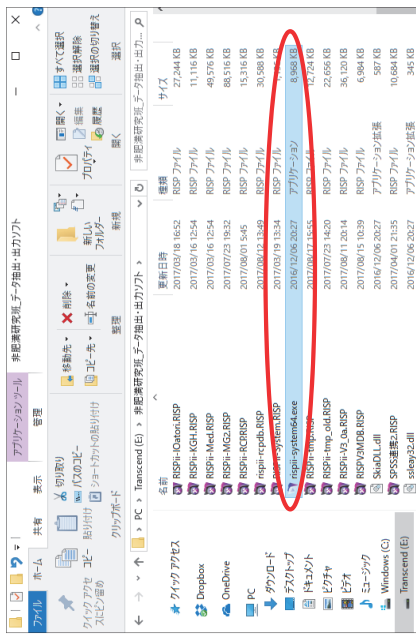
※PCがHDDを認識するまで多少時間がかかる場合があります。

③「非肥満研究班_データ抽出・出カソフト」フォルダを開いてください。



④「rispii-system64.exe」を立ち上げてください。
 ※ご使用のPC環境により、フォルダの表示形式が異なる場合や、拡張子が非表示だったりする場合があります。

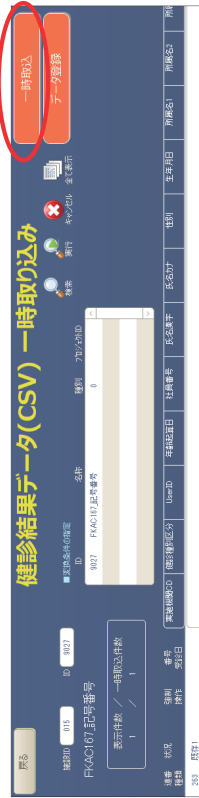
※初めてソフトを立ち上げた場合、「ユーザー名を入力してください」とダイアログが出ますので、任意の名前を入力してください。どのようなユーザー名でも構いません。



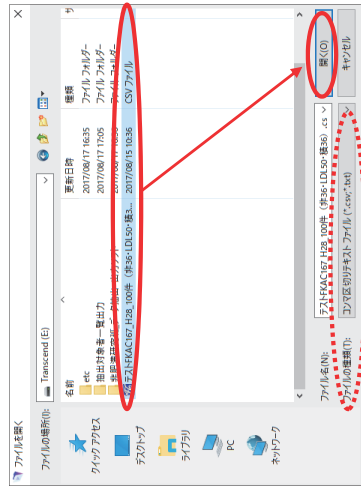
⑤「データ抽出・出カソフト」のメインメニューが開きます。以上でシステムの起動は完了です。



③ 「健診結果データ (CSV) 一時取り込み」画面で「一時取込」をクリックします。



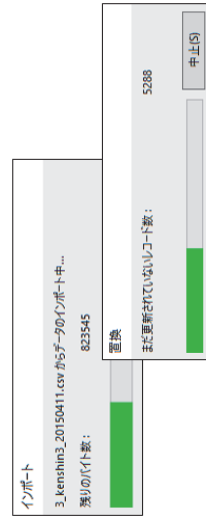
④ 予め用意いただいた健診データの CSV ファイルを指定し、ファイルの種類が「コンマ区切りテキスト ファイル (*.csv;*.txt)」となっていることを確認し「開く」をクリックします。



⑤ 一時取り込みが始まるとダイアログが順に表示されますので、処理が完了するまでそのままお待ちください。

※登録件数が少ない場合は、表示されない場合があります。

※登録件数が多い場合は、処理に時間が掛かります。



IV. 健診結果データの取り込み

① 「データ抽出・出カソフト」のメインメニューを開き「健診データ (CSV) 取込」ボタンをクリックします。



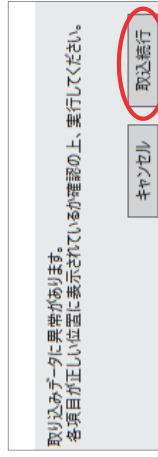
② 「健診結果データ (CSV) 一時取り込み」画面の左側に「FKAC167_記号番号」と表示されているのを確認してください。



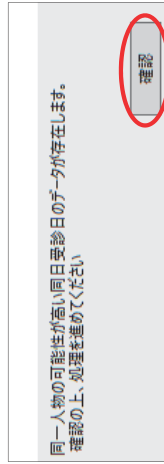
⑧システムに設定した項目と健診データの項目内容が一致しない場合、以下のダイアログが表示されます。 ※異常内容例：問診項目欄で1～3の数字があるはずなのに、4がある等

「キャンセル」をクリックすると対象データが表示されますので、内容を確認し、修正を行いたい場合は、元の健診CSVデータを修正し、Page9③健診データの一時取り込みから再度作業を行ってください。この時、再取り込みを行う健診CSVデータは異常がある対象者のみではなく、全対象者データを再度取り込んでください。

「取込続行」をクリックすると異常があるまま登録作業が進みます。



⑨健診データ内に同一人物で同日健診日のデータがあった場合、以下のダイアログが表示されますので「確認」をクリックしてください。

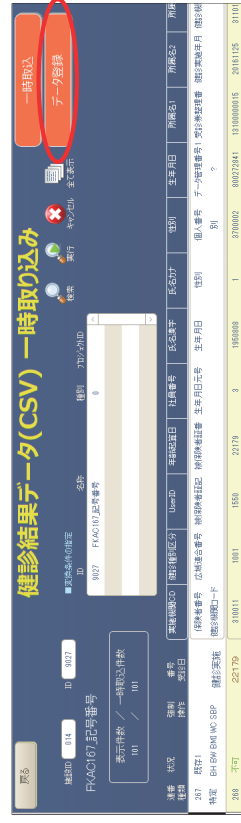


健診結果データ (CSV) 一時取り込み画面に、対象の同一人物で同日健診日のデータが全て表示されます。システムの仕様上、同一人物で同日健診日のデータは1件しか登録が出来ません。内容を確認し、登録するデータ以外を削除します。

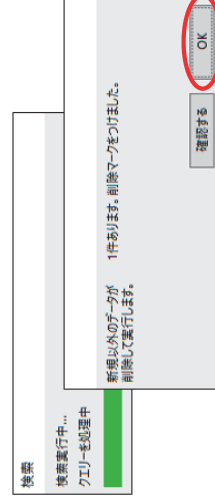
⑩健診データ一時取り込みが終了すると「一時取り込み完了」のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。一時取り込みされた件数が健診結果データ (CSV) 一時取り込み画面左上に表示されますので、確認してください。



⑪一時取り込みをしたデータをデータベースに登録します。「データ登録」をクリックします。



ダイアログが複数回表示されますので、処理が完了するまでそのままお待ちください。



⑩健診データ内に同一人物の健診受診日の異なるデータがあった場合、以下のダイアログが表示されます。

「キャンセル」をクリックすると対象データが表示されますので、内容を確認し、削除を行いたいデータがあった場合は、強制実行欄で「2削除」を選択し、再度「データ登録」ボタンをクリックします。

「取込続行」をクリックすると登録作業が進み、健診受診日の異なるデータ全てが登録されます。



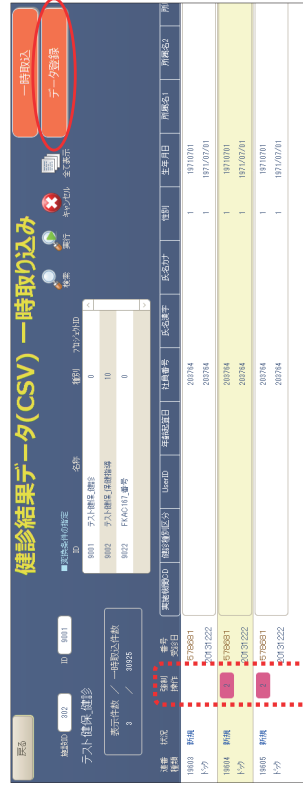
登録処理が進むと、登録の進捗を示すダイアログが表示されますので、処理が完了するまでそのままでお待ちください。登録件数が多い場合は処理に時間が掛かります。



強制操作欄をクリックすると、ドロップダウンリストが表示されますので「2削除」を選択します。



強制操作欄の選択した操作番号が色付きで表示されているのを確認し、Page10⑩のデータ登録作業を行ってください。



V. 研究対象者抽出・出力

取り込みを行った健診データから研究対象者を抽出します。

- ①研究対象者一覧の保存先として、予めデスクトップやHDD内にフォルダを作成してください。
- ②メインメニューの研究対象者抽出・出力欄でH28年度の抽出を行いたい条件のボタンをクリックします。

※H29年度の研究対象者抽出・出力は年度末の匿名化データ収集の際に使用します。

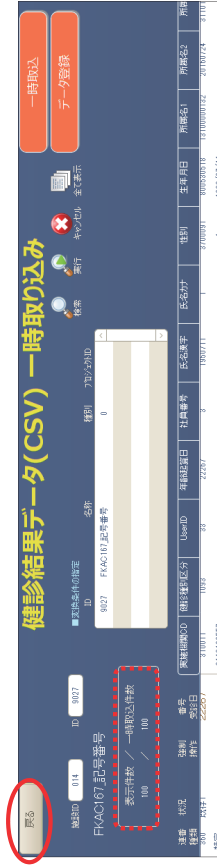
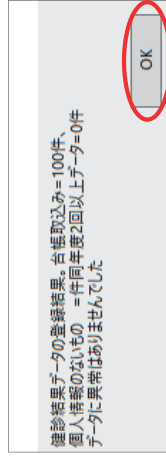


※抽出条件は以下の通りです。

名称	抽出条件
非肥満対象者	①H29年度に40～満73歳の方 ②腹囲が男性85cm未満・女性90cm未満 かつ BMI25未満 ③階層化基準の追加リスクが2個以上当てはまる方
非肥満対象者 (LDL-C 含)	①H29年度に40～満73歳の方 ②腹囲が男性85cm未満・女性90cm未満 かつ BMI25未満 ③階層化基準のLDL-Cを含む追加リスクが2個以上当てはまる方
特定保健指導積極的支援	①H29年度に40～満73歳の方 ②腹囲が男性85cm以上・女性90cm以上 または 腹囲が男性85cm以上・女性90cm以上 かつ BMI25以上 ③階層化基準の追加リスクが2個以上当てはまる方

①データ登録が終了すると、データ登録結果をお知らせするダイアログが出ます。件数を確認し、「OK」をクリックします。データベースに登録された件数が健診結果データ (CSV) 一時取り込み画面左上の表示件数に表示されますので、確認してください。

これで健診結果の CSV データの取り込みは完了です。画面左上の「戻る」をクリックでメインメニュー一面に戻ります。

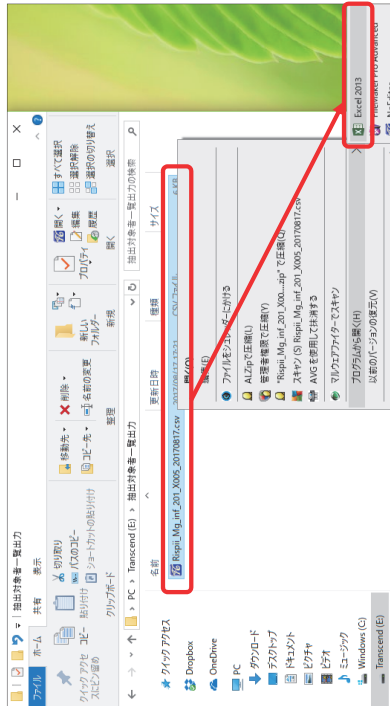


⑥指定したフォルダ内に集計結果データが出力されているのを確認します。

「RISP ii_Mg_inf_X00_#_2017****.csv」からExcelを選択し、右クリックします。
「プログラムから開く」からExcelを選択し開いて確認してください。

※ファイル名の「#」は抽出条件によって変わります。

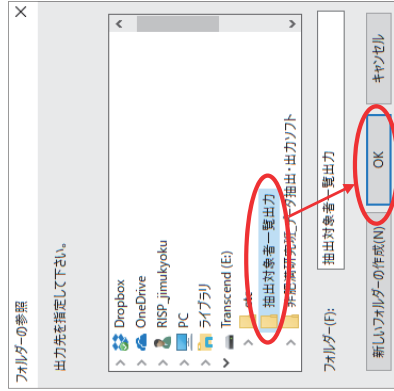
※ファイル名の「****」は出力日が表示されます。



③設定された抽出条件の対象者を抽出します。クリック等せずそのままお待ちください。
設定条件にそって全データの処理を行うため、処理に時間が掛かります。



④「フォルダへの参照」のダイアログで、対象者抽出一覧を保存するフォルダを指定し「OK」をクリックします。抽出処理が完了するまで、クリック等せずそのままお待ちください。



⑦FKAC167には氏名の項目がないため、出力されたいリストには氏名はありません。研究対象者の候補を選定後、被保険者番号・記号等を使用して氏名を台帳データ等で照らし合わせをしてください。

1	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	施設番号	個人番号	匿名化番号	氏名	カタカタ	性別	生年月日	記号	番号	住民番号	健康保険	BMI	腹囲	喫煙	糖尿病	血圧	拡張期血圧
2	14	95710974654		1982/08	1550	22179	20101205	1603	60	20	80	110	110	80			
3	14	57401358584		1982/09	33	22589	20101205	160	60	20	80	110	110	80			
4	14	50602660000		1982/09	33	22589	20101205	160	60	20	80	110	110	80			

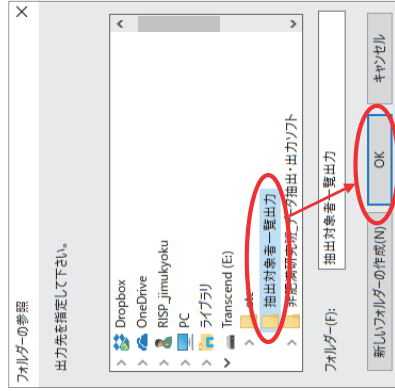
⑤データ作成が完了すると、「出力ファイルが正常に作成されました」と表示されますので、「OK」をクリックします。その後メインメニュー画面に戻ります。

これで研究対象者の抽出、出力は完了です。

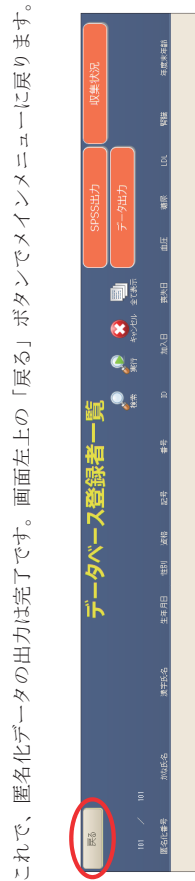
※その他の条件で研究対象者抽出・出力を行いたい場合は、それぞれの抽出条件でPage15④から作業を行ってください。



④「フォルダの参照」のダイアログで、対象者抽出一覧を保存するフォルダを指定し「OK」をクリックします。抽出処理が完了するまで、クリック等せずそのままお待ちください。



⑤出力が完了すると、データベース登録者一覧画面に戻ります。



これで、匿名化データの出力は完了です。画面上の「戻る」ボタンでメインメニューに戻ります。

VI. データ提出（年度末に行う作業です）

平成29年度の特定健診結果データを匿名化データに加工し、出力します。

※データ提出をお願いする際には、別途お知らせいたします。

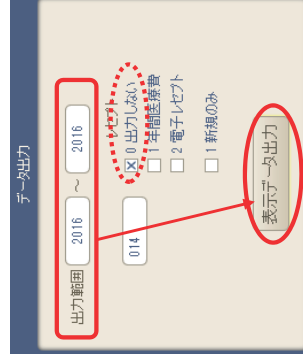
①メインメニューの「データ提出」ボタンをクリックします。



②データベース登録者一覧で「データ出力」ボタンをクリックします。

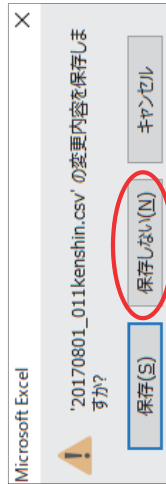


③「データ出力」ポップアップで出力範囲に取り込みを行った健診結果データの年度を指定し、レセプト欄の「0 出力しない」にチェックが入っているのを確認した上で、「表示データ出力」ボタンをクリックします。



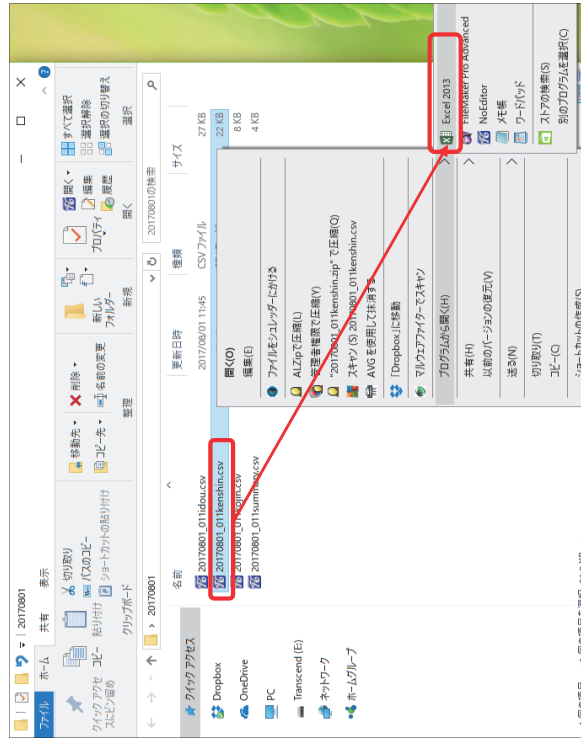
⑦個人情報が残っていないか、Excelの画面を右側へスクロールして確認してください。
 確認後、ファイルを閉じる際に保存の確認ダイアログで「保存しない」を選択します。

※何も変更を行っていないくてもファイルの内容が変わってしまう可能性がありますので、
 必ず「保存しない」を選択してください。



⑧指定したフォルダ内に匿名化データが出力されているのを確認します。
 「2017****」ファイル内の「2017****_###kenshin.csv」ファイルを選択肢、右クリックします。
 「プログラムから開く」から Excel を選択し開いて確認してください。

※ファイル名の「****」は出力日、「###」は施設番号が表示されます。



Ⅶ. システムの終了

システムを終了する際には、必ずメインメニューの「終了」ボタンを使用してください。
画面右上の「×」ボタンを使用するとエラーの原因になる可能性があります。ご注意ください。

- ①メインメニューの「システム終了」ボタンをクリックします。



- ②マスタファイル反映用の出力確認ダイアログで「キャンセル」をクリックします。
以上でソフトは終了します。

